

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0500
施設名	赤ちゃんの家保育園
施設所在地	町田市原町田 6 - 2 7 - 1 0
法人名	社会福祉法人愛育会

1. 活動のテーマ

ふたば（0歳児）

<テーマ>

音・色

<テーマの設定理由>

慣らし保育が始まりお家の方と離れることへの不安から泣いてしまう子どももいたが、音楽や音の鳴るおもちゃや手作り玩具を見せると興味を持ち少しずつ気持ちが切り替わる姿が見られた。そこで「音」や「色」をテーマに取り入れることで、自分なりに感じたり表現したりする楽しさにつなげていきたいと考えた。遊びや製作を通して、見たり聞いたり触れたりする経験を大切にしながら一人ひとりの反応や発見に寄り添っていきたい。

2. 活動スケジュール

6月から来年3月にかけて年間通して継続的に活動を行う。

子どもの成長や発達、一人ひとりの興味や関心に合わせながら無理なく楽しんで取り組めるよう内容を工夫していく。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

ミュージックパット・ソルトマラカス・絵具・画用紙

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

ペットボトルや空き箱など身近な素材を使ったマラカスや楽器遊びを行い、音の違いや鳴らし方を楽しめるようにする。保育士がミュージックパッドで簡単な曲を演奏し歌を歌ったりしながら子ども達が自由に体を動かしたり音を鳴らしたりして遊べるよう援助していく。製作活動では絵具や手形スタンプ、花紙など様々な素材に触れながら色や感触を楽しめるようにする。

フィンガーペイントでは、絵具に触れながら色が広がる様子をじっと見たり手で感触を確かめたりして楽しむ姿が見られた。保育者の声掛けに笑顔を見せていた。
ソルトマラカスでは振ると音が鳴ることを喜び繰り返し振って楽しんでいた。
ミュージックパッドでは自分で触れると音が出ることに興味を持ち、何度も手を伸ばして楽しむ様子が見られた。



5. 振り返り

最初は絵具やペンなど触りたくない様子も見られたが、徐々に自分から好きな色を選んだり「やってみよう」とする意欲的な姿が見られた。また、季節の歌やリズム遊びを取り入れることで保育士と一緒に表現を楽しむ姿が増えてきた。
今後も子ども一人ひとりの気持ちに寄り添いながら自由に思いのままに描いたりシール貼りができるような好きな遊びを選べるコーナー遊びを用意していく。
音楽に合わせて体を動かしたり好きな楽器を選んで子どもたちが楽しみながら取り組める活動につげていけるような環境設定をしていく。